

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なのはなホーム	
2 指定管理者	社会福祉法人 なのはな会	
3 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで（5年間）	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和2年度 4,596人（前年度比87%） ・令和元年度 5,301人（前年度比100%） ・平成30年度 5,324人（前年度比105%）	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 61,721千円（63,228千円） ・その他市が負担した費用 4,226千円（1,144千円） 《収入》 ・使用料収入 57,110千円（65,442千円） ・その他収入 0千円（0千円）	
	（ ）は前年度決算額	
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営にあっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 個人情報の取扱いについては、管理責任者を定め、職員間で意識啓発を行うなど、適切な体制で管理しているほか、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設の保守点検や清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、職員会議・研修等により人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上を目指している。また、意見箱の設置や、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。 家族からの要望や相談にできる限り寄り添い、適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、定期的に見直しを行っているほか、利用者1人1人の個別課題を職員で共有し、振り返り評価を行い、個々の特性を踏まえたより効果的な療育を実施できるよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルスの影響で制約の多い年ではあったが、子どもの命と幼児期の生活を守るという基本に立ち戻り療育を進めてきた。</p> <p>〈発達支援〉</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの年齢、発達と障害、生活を捉えて個別の支援計画をもとに全職員で課題を共有して取り組みを進めてきた。・週5日開所の中で子どもに合わせた通い方を探り、生活リズムを整え、安定した生活をつくることができた。・発達を促す遊びと集団のあり方を工夫することで、コミュニケーションなど主体的な活動を引き出すことができた。 <p>〈家族支援〉</p> <ul style="list-style-type: none">・個別面談、毎日のミーティングなどで子どもの発達や行動の意味を保護者に丁寧に伝え、連携して支援を行った。・子育て環境は多様化し難しい状況であるが、家族のあり様を尊重して寄り添い、適宜相談や預かり保育を行い家族の安定へつなげてきた。・保護者からの研修内容について要望をお聞きして勉強会を行い、子どもの理解を深め子育ての学びの機会となった。・行事においては感染防止のため縮小したが工夫して行い、子どもの発達の節目として保護者と共有することができた。 <p>〈地域支援〉</p> <ul style="list-style-type: none">・緊急事態宣言のため年度初めに卒園児が進路先へ通うことができない状況だったため、こまめに電話など連絡を取り状況を確認し、不安を和らげる相談支援を行ってきた。・地域相談員がのびすくや児童館などの集まりに参加し、保護者の悩みをお聞きする個別相談会を行うなど、発達に心配のある親子を孤立させないための支援を行ってきた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の年齢、発達、障害特性、生活環境に合わせた療育の実現を図っている。地域支援においては、水の森児童館やのびすく泉中央など、地域の子育て支援施設との連携、情報共有に努め、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的な取り組みを行っている。</p> <p>また、保護者のニーズに寄り添った定期的な保護者勉強会を開催したり、保護者が相談しやすい体制を整え、丁寧に相談に応じている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課